

津波に敗北した田老町と津波を克服した普代村



高さ10mのX字型の防潮堤を超えて津波は来襲し田老町はほぼ壊滅状態にあった。防潮堤の一部は津波によって寸断されていた。津波対策は万全と信じられていただけに個々の防災対策や避難行動には逆に油断があった可能性も否定できない。



普代村の海側は高さ15mの剛強な防潮堤(水門)で守られていて、その内側には長さ500m超の防潮林があり、その奥に集落が分布している。集落内を流れる普代川にも水門付きの堰堤があって、古くからの集落は二重三重に守られている。